



# 本日の予定

- |   |                          |             |
|---|--------------------------|-------------|
| 1 | 開 会                      | 10:00~      |
| 2 | 会長・副会長選出                 |             |
| 3 | 議 事                      |             |
|   | (1)収集体制とごみ処理手数料の見直し案について | 10:10~11:40 |
|   | ・ 現在までの取組と見直し案について       | [約20分]      |
|   | ・ グループ討論                 | [約30分]      |
|   | ・ 発表準備                   | [約10分]      |
|   | ~休憩                      |             |
|   | ・ 全体討議（発表・まとめ）           | [約30分]      |
|   | (2) 今後の予定                | 11:40~      |
|   | (3) その他                  | 11:45~      |
| 4 | 閉 会                      | 11:50       |

## 現在までの取組について

### ① R3.11.11 第1回審議会 … 現状と課題について共通認識を持つ

①ごみ処理の現状、②課題と解決手法 → 共通認識

### ② R4.1.28 教育民生常任委員会 … 市議会へ報告(所管事務調査)

ごみ処理基本計画の改訂作業とエコセンター番匠長寿命化計画について

### ③ R4.3.23 第2回審議会 … 収集体制とごみ処理手数料の見直しについてグループ討論

【グループ討論での主な意見】

- |              |  |
|--------------|--|
| 1班 住民グループ    | ・ 粗大ごみ収集は統一に向け手法を検討すべき。民間活力の利用も検討すべき。      |
|              | ・ 手数料の値上は理解できるが、値上げ幅について要検討。               |
| 2班 環境・事業グループ | ・ 粗大収集は見直すべき。民間活力は必要なので選択肢を増やした方が良い。       |
|              | ・ 手数料の値上はやむを得ないが段階的に上げてもらいたい。              |
| 3班 処理業グループ   | ・ 粗大定期収集を廃止し、有料収集を値上げし、民間ではなく市直営か委託で対応すべき。 |
|              | ・ 手数料は安すぎる。                                |

### ④ R4.4月 市民アンケート …市民の家庭ごみの排出方法や市の施策に関する意見を調査

4/1~28まで実施      回答数805件      7/1~調査結果を公表

### ⑤ R4.6.21 教育民生常任委員会 … 市議会へ報告(所管事務調査)

第2次佐伯市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定作業の経過報告とエコセンター番匠の長寿命化計画について

# 現在までの取組について…①第1回審議会〔R3.11.11〕

現在の佐伯市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の計画期間は、平成21(2009)年度から令和5(2023)年度までの15年間となっているため、現在、第2次計画の策定作業を進めています。

策定作業を進める中で、まず現状と課題を整理し、次に課題解決に向けた検討項目として「収集体制とごみ処理手数料の見直し」を行うこととしました。

## 【現状と課題】

- ・ 粗大ごみの収集体制を市全域で統一していない
- ・ 多量ごみ収集が様々なニーズに対応していない
- ・ 一人当たりのごみ排出量が増加傾向である
- ・ 粗大ごみの排出量が増加傾向である
- ・ 処理施設の老朽化対策が必要だが、費用が高額



## 【検討項目】

- 1 収集体制の見直し  
粗大ごみ定期収集と多量ごみ収集の方向性を決定
- 2 ごみ処理手数料の見直し  
排出量に応じた費用負担の考え方を整理

### 参考資料 現在の収集体制

■ 収集・運搬体制

区分	収集対象地域	収集形態
家庭ごみ	A地区(佐伯地区南部)	委託
	B地区(佐伯地区北部、上涌)	
	C地区(弥生、本匠、宇目、直川)	
	D地区(観見、米水津、奥江)	
有料収集	市全域(一時的に多量に発生するごみの戸別収集)	直営
事業系ごみ	市全域	許可

※ 粗大ごみの定期収集は、CD地区のみで実施

※ 自己搬入分を除く。

1,100円	2,200円	4,400円

粗大ごみ 100円

### 参考資料 粗大ごみは増加傾向

◆ 片付けごみや粗大ごみは、増加傾向である。  
◆ 運搬方法は次の3つであるが、③の定期収集は、佐伯と上涌を除く地域のみとなっている。  
①自分でエコセンター番匠に運ぶ  
②有料収集を予約し、取りに来てもらう  
③粗大ごみ定期収集で集積所に出す

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
総排出量(t)	27,840	26,744	26,262	25,787	25,920	26,273	26,063	25,903	25,893	25,547	26,083	25,304	25,955	25,200
粗大ごみ(t)	565	559	492	569	679	749	830	960	1,011	1,042	1,049	1,174	1,378	1,339

# 現在までの取組について…③第2回審議会〔R4.3.23〕

「収集体制とごみ処理手数料の見直し」について、グループごとに意見を出しました。

討論項目	各メンバーの考え	1班 住民グループの考え方(まとめ)
1-(1) 粗大定期収集の統一	・高齢化を考えると民間業者と併用した方が良い(市民の選択肢が増える)	統一については意見が一致 手法については要検討
1-(2) 少量と多量の優先度	・日常の少量ごみを優先すべき	少量ごみを優先
1-(3) 有料収集の民間活力	・高齢化を考えると民間業者と併用した方が良い	民間活力も利用し併用型が良い
2-(1) 現在の負担割合	・現状は安いと感じている(特に搬入ごみ手数料) ・個別収集は人件費もかかっているが、3倍に上げるのは急では	値上げについては理解できるが、値上げの金額については要検討
2-(2) 料金と収集のバランス	・コストに応じた負担は必要	民間活力を導入することで負担が上がるのはやむなし

討論項目	各メンバーの考え	2班 環境・事業グループの考え方(まとめ)
1-(1) 粗大定期収集の統一	少なければ収集ルート、回数を見直しても良いのでは。 必要などきの他の収集方法はないのか。	見直してもいいと思う
1-(2) 少量と多量の優先度		特に話はでなかった。
1-(3) 有料収集の民間活力	有料収集は安いねといわれる。 搬入はあんまり出さない人は他に恩恵を受けている。応分負担を。 家の中手伝ってもらった方がいい。 民間許可業者あった方がいい。	民間活力必要。選択肢を増やした方がいい。
2-(1) 現在の負担割合		負担の話はなかったが、サービス＝選択肢は増やした方がいい
2-(2) 料金と収集のバランス	1枚30円は安すぎると思う 値上げもやむなし 100kgまで100円でいいのでは。	バランスの話はでなかったが、サービスがよくなった方がいいという意見
3 その他	高額な処理経費が掛かることを積極的に広報すべき	

## 進め方【グループ討議60分 → 全体討議30分】



討論項目	3班 処理業グループの考え方 (まとめ)
1-(1) 粗大定期収集の統一	【統一すべき】 処理業者にも粗大収集の要望が多々ある。 粗大定期収集は市全域廃止するべき。市直営の有料収集で対応した方が良い。さらに市直営は現行、家の中からの回収サービスはないが、高齢者が多く、需要が多いので値段を大幅に上げて(いくらかかってでも良いからお願いという要望が結構ある。)家の中から回収するようにした方が良い。
1-(2) 少量と多量の優先度	【少量多量はどちらも同じ優先順位】 依頼があれば少量でも多量でも優先はつけるべきではない。お金を払うので依頼された分に優先順位はつけられない。
1-(3) 有料収集の民間活力	【処理業者側としてはできればしたくない】 粗大有料収集は業者目線では、労力と利益の観点から、許可制での収集はしたくない。もし、民間活力ということであれば、粗大収集を委託で出すが予約制で回収という形をとった方が良い。民間活力は可能だと思うができれば市直営がベスト。
2-(1) 現在の負担割合	【有料収集安すぎる】【ごみ袋は30Lが欲しい】【ごみ袋1円/L】 袋については30Lが欲しい。袋の料金としては主婦目線では「30L20円」、「45L40円」という感じだが、班全体の意見としては1円/Lという意見であった。
2-(2) 料金と収集のバランス	【安すぎる】【粗大収集は予約制で良いのでは】
3 その他	【古紙の中にごみを入れている人がいる。】【牛乳パックやピンカンペットも洗ってない人がいる。】 【ごみの出し方がわかってない市民がいる。】 【袋に文字が少なくても良いので、大きい字で「ごみを減らしましょう」等何か注意してもらいたいことだけ書いても良いかも】

## 現在までの取組について…④市民アンケート

805件の回答 サービスとコスト負担のバランスに留意しつつ、排出量に応じた費用負担が望ましい。

主な質問内容	第1位回答	第2位回答	第3位回答
2-1燃えるごみで使う袋	45L(黄色)袋 (91%)	20L(白色)袋 (4%)	両方とも (4%)
3-5多量ごみ収集の値上げについて	利用しない。自分で運ぶ。(328件、41%)	軽トラ3,000円程度 (317件、39%)	利便性が上がれば高額でもよい(102件、13%)
4-1住民負担の考え方は、どちらが近い	多く出す人が負担すべき (515件、64%)	量に関係なく税金で負担すべき (271件、34%)	未回答(19件、2%)
4-2指定ごみ袋の料金負担はどう思うか	現状のままで良い (492件、61%)	負担率を上げるべき (256件、32%)	高いので下げるべき (49件、6%)
4-3粗大ごみの戸別収集いくらなら利用したいか	500～600円 (296件、37%)	300～400円 (279件、35%)	利用しない。自分で運ぶ。(127件、16%)
4-4搬入料金を検討しているがどう感じるか	単純従量制が良い (519件、64%)	定額制が良い (143件、18%)	わからない (133件、17%)
5-1ごみ処理料金の使い道として妥当なものは？	処理経費や施設整備 (589件、73%)	環境美化や集積所の補助 (126件、16%)	ごみ減量や3Rの推進費 (79件、10%)

黄色:50%以上、薄緑色:30%以上、薄青色:20%以下、白色:10%以下

## ごみ袋の大きさニーズ調査【R4.4.1～4/28に実施】

指定ごみ袋の大きさについて、大分市の袋で例えるとどのサイズが使いたいのかを調査しました。

種別	①一番使いたいサイズ (オレンジシール)					②次に使いたいサイズ (青シール)					計	割合	
	20	22	30	28	17	4	2	0	4	0			
大 45L	20	22	30	28	17	202	4	2	0	4	0	229	39.55%
中 30L	5	8	9	1	0	70	7	8	13	5	3	147	25.39%
小 20L	16	20	11	0	0	35	16	11	14	0	162	27.98%	
特小 10L	1	6	9	1	0	7	12	11	15	11	31	5.35%	
ミニ 5L	0	3	0	0	0	5	3	7	1	0	10	1.73%	
	0	2	1	0	0	5	0	3	2	0	579	100.00%	
	1	1	0	0	0	5	0	0	0	0			

特にニーズが高かったのは…

1番人気「大」→ 39.55%  
 2番人気「小」→ 27.98%  
 3番人気「中」→ 25.39%

本庁舎1階ロビーでの展示イメージ



展示内容



## 参考資料 「収集形態の比較」

自治体名	粗大ごみ 定期収集	粗大ごみ・多量ごみ 有料収集	家庭ごみ許可業者
大分市	なし	【市直営】 軽トラ相当(1,960円)、多くなると3,920円～	×
別府市	なし	【市直営】 少量：粗大シール(330、660、880円) 【市直営】 多量：2トン車(8,800円)	許可業者あり (建物内のとき)
中津市	なし	【委託業者】 5点まで：(220、550、990円) 【許可業者】 6点以上：業者が定めた料金	許可業者あり
日田市	なし	【許可業者】 業者が定めた料金	許可業者あり
佐伯市	佐伯・上浦地域以外 シール100円/枚	【市直営】 軽1,100円、中型2,200円、大型4,400円	×
臼杵市	なし	【市直営】 2トン車(3,130円)	×
津久見市	なし	【許可業者】 業者が定めた料金	許可業者あり
竹田市	なし	自己搬入のみ	許可業者あり
豊後高田市	なし	【許可業者】 業者が定めた料金	許可業者あり
杵築市	なし	【市直営】 粗大シール(300円)	許可業者あり
宇佐市	年1回拠点回収 無料 個数制限なし	【許可業者】 業者が定めた料金	許可業者あり
豊後大野市	なし	【許可業者】 業者が定めた料金	許可業者あり
由布市	なし	【委託業者】 軽トラ(2,040～3,140円)	許可業者あり
国東市	なし	自己搬入のみ	許可業者あり
宮崎県延岡市	不燃ごみの日に別便回収 シール240円/枚	予約制 4,770円/台	×

# 参考資料「収集体制 メリットデメリットの検討」

			少量の粗大ごみ(日常)				引っ越し等で一時的に出る多量ごみ									
			A		B		C		D		E		F		G	
			現行の多量ごみ 戸別収集(予約制) として対応		粗大ごみ戸別収集 (地区指定での予約制、ス テッカー利用)		粗大ごみ定期収集を拡大 し、市全域で実施 (集積所、ステッカー利 用)		新たな許可業者による 訪問収集 (屋内からの搬出も可能)		現行の市直営による 戸別収集		新たな委託業者による戸 別収集		新たな許可業者による 訪問収集 (屋内立入り片付け可能)	
市民	サービス	申込	△	予約制	△	予約制	◎	予約は不要	△	予約制	△	予約制	△	予約制	△	予約制
		収集日	△	時期により混雑	△	地区別に指定あり	△	地区別に指定あり	○	土曜も可能業者あり	△	時期により混雑	△	時期により混雑	○	土曜も可能業者あり
		搬出場所	○	車が寄れる所	○	車が寄れる所	×	広い集積所が必要	◎	業者が対応	○	車が寄れる所	○	車が寄れる所	◎	業者が対応
		搬出作業	○	自分で家の前に運ぶ	○	自分で家の前に運ぶ	△	自分で集積所まで運ぶ	◎	業者が対応	○	自分で家の前に運ぶ	○	自分で家の前に運ぶ	◎	業者が対応
		立会い	△	立会い必要	○	立会い不要	○	立会い不要	△	立会い必要	△	立会い必要	△	立ち合い必要	△	立会い必要
	コスト	料金	△	少量だと高い	◎	少量だと安い	◎	少量だと安い	×	業者設定のため高い	○	一定料金	○	一定料金	×	業者設定のため高い
		納付方法	△	当日立会い現金支払い	○	ステッカーを事前購入	○	ステッカーを事前購入	△	当日立会い現金支払い	△	当日立会い現金支払い	△	当日立会い現金支払い	△	当日立会い現金支払い
行政	手続き	受付	△	予約の受付対応	△	受付必要	○	受付不要	◎	業者が対応	△	予約の受付対応	×	市で受付し、委託先へ	◎	業者が対応
		収集場所	△	車が寄れる所	△	車が寄れる所	○	集積所方式	◎	業者が対応	△	車が寄れる所	△	車が寄れる所	◎	業者が対応
		法の趣旨	◎	自治体の責任	◎	自治体の責任	△	市が困難という条件	×	市が困難という条件	◎	自治体の責任	△	市が困難という条件	×	市が困難という条件
	コスト	直接経費	○	現在の車両で対応	○	現在の車両で対応	×	委託料が増額	◎	業者が対応	○	現在の車両で対応	×	委託料が増額	◎	業者が対応
		間接経費	△	現金徴収事務	○	ステッカー代程度	○	ステッカー代程度	◎	業者が対応	△	現金徴収事務	△	現金徴収事務	◎	業者が対応
		作業効率	△	少量のみのロス	○	事前にルート把握	×	ルート収集によるロス	◎	業者が対応	○	ロス少	△	受付が別々、ロス多い	◎	業者が対応
		費用対効果	○	現体制で対応可	○	現体制で対応	×	委託料に対し少量	◎	業者が対応	○	現体制で対応	△	委託料	◎	業者が対応
点数	◎	(3点)	3	(1個)	6	(2個)	6	(2個)	24	(8個)	3	(1個)	0	(0個)	24	(8個)
	○	(2点)	8	(4個)	14	(7個)	8	(4個)	2	(1個)	12	(6個)	6	(3個)	2	(1個)
	△	(1点)	9	(9個)	4	(4個)	3	(3個)	3	(3個)	7	(7個)	7	(7個)	2	(2個)
	×	(-1点)	0	(0個)	0	(0個)	-4	(4個)	-2	(2個)	0	(0個)	-2	(2個)	-2	(2個)
評価点合計			20		24		13		27		22		11		26	

## 検討項目1 「収集体制の見直し」事務局案

ごみ区分		収集方法		頻度	備考	
		現行	見直し案			
生活ごみ	燃える	定期収集 (ABCD委託)	変更なし	1週間に2回	集積所 (指定ごみ袋)	
	燃えない			4週間に1回		
	資源(ビンカン <sup>o</sup> ット、紙)			2週間に1回		
	①乾電池・ 蛍光灯	佐伯以外	定期収集 (BCD委託)	定期収集 (ABCD委託)	1週間に2回	集積所
		佐伯	拠点収集 (市直営)			
	小型家電	拠点収集 (市直営)	変更なし	1週間に2回	拠点の公共施設	
	②粗大ごみ	定期収集(CD)	廃止	——	定期収集を廃止	
②少量の粗大(1組まで)	なし	戸別収集 (市直営)	4週間に1回 (予約制)	自宅前(ステッカー)		
③多量ごみ	戸別収集 (市直営)	変更なし	予約制	自宅前(当日現金)		
	なし	訪問収集 (許可業者)	予約制	屋内からの搬出も可能(業者設定)		
臨時						



### 見直し案による変更点

- ① 乾電池・蛍光灯  
AB地区(佐伯区域)では拠点回収のみであったため、集積所に出すことができるよう、全域で定期収集を開始
- ② 粗大ごみ  
市内全域で統一し、集積所まで運ばず家の近くに出せるよう、地区ごとに収集日を設定し、予約制での戸別収集を開始
- ③ 多量ごみ  
「家から運び出すのが困難な人」のニーズに応えるため、新たに搬出から収集運搬まで含めた「訪問収集」の実施に向け、廃棄物処理法の基準を満たす業者の認定許可制度を確立

## ごみ処理経費の自己負担額の考え方

### 1 ごみ処理と受益者負担

受益者負担とは「利用者がサービスの提供を受けるような場合、利用者と利用しない人との負担の公平の観点から、その利用者に費用負担を求める」という考え方です。

環境省の一般廃棄物処理有料化の手引きでも「排出量に応じた負担の公平化」が記載されており、一定の費用負担を設けることで、ごみの排出抑制や再資源化の向上等の効果が認められています。

この費用負担が少ない場合には多くの費用を税で負担することになるため、ごみの減量に努力している人にとっては不公平となり、また住民登録がない等で納税していない人のごみを納税者の負担で処理することになります。

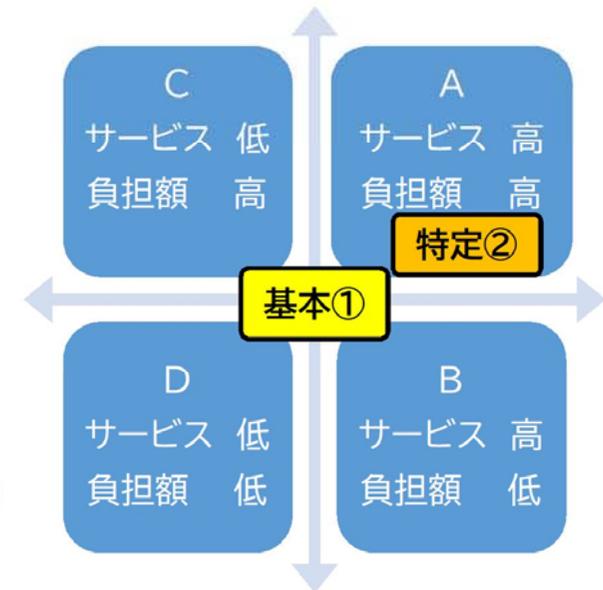
### 2 市民と行政の目線

市民にとって理想的なごみ処理体制は「いつでも低額でごみ処理できる。」ことですが、行政側には財政的な制約があり調整が必要となります。

右の図でいえば、市民はBが理想的ですが、ごみ処理には複数のサービスがあるため、サービスの内容によって自己負担率を設定すべきと考えます。

受益者負担の考え方として、①「全員が利用するサービス」を基本の負担率として設定し、②「特定の人しか利用しないサービス」は負担割合を高く設定することで、公正化が図れます。

具体的には、ほとんどの市民が利用する「指定ごみ袋制ごみ処理手数料」は①に該当し、自己都合でエコセンター番匠に自己搬入する「搬入ごみ手数料」や引っ越しなどによる「多量ごみ収集手数料」は②に該当します。



### 3 自己負担額の見直し

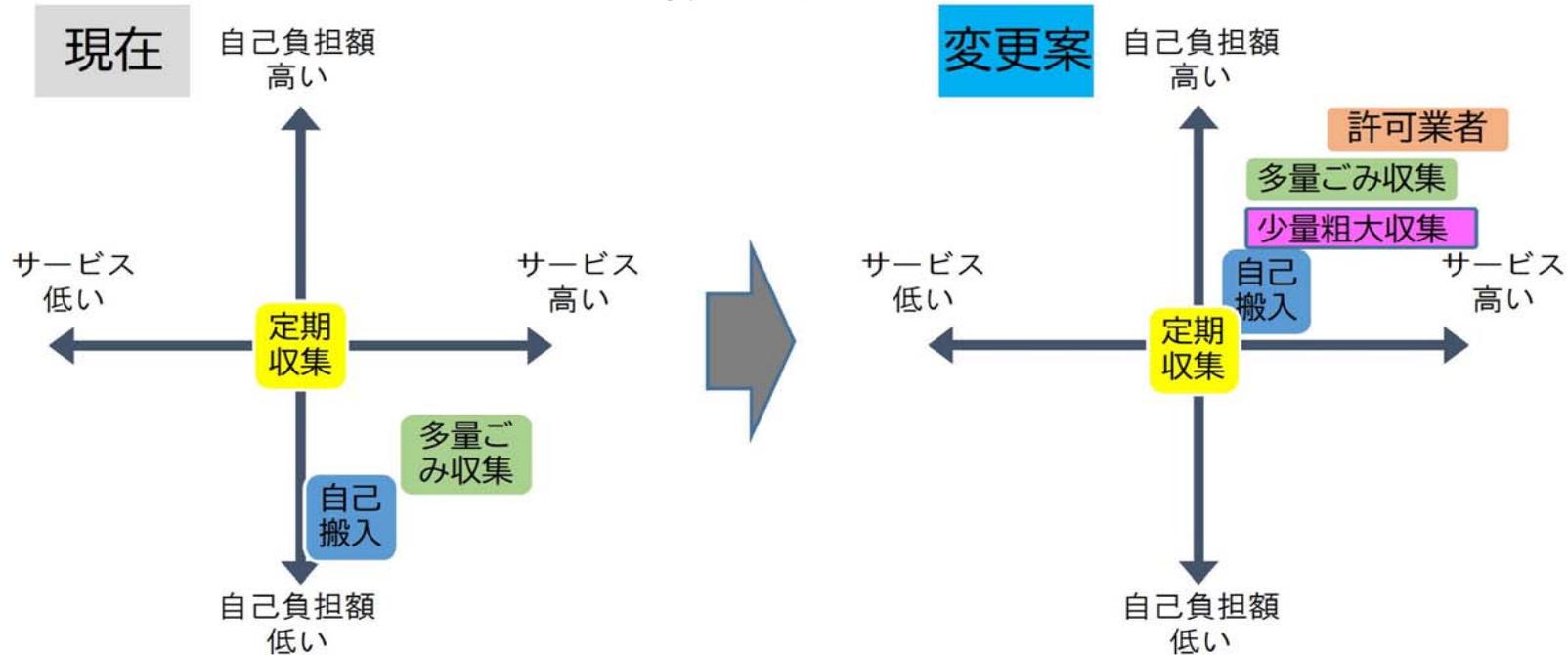
ごみ処理手数料の見直しは、市民サービスに大きく影響するものですが、日常生活に必要不可欠なごみ処理を安定的に継続するためには、避けては通れないものです。また、収集体制とも大きく関連があり合わせて見直す必要があります。

多くの人が利用する指定ごみ袋による「定期収集」を基本とし、前項2の考え方を導入し、特定の人しか利用しないサービスの負担額は高く設定します。

生活ごみを収集する「定期収集」をメインにすることで環境負荷の低減が図れます。また、高齢化等による運転困難者の利便性向上の対策として、少量の粗大ごみ収集制度や市認定家庭ごみ収集許可業者の新設も検討します。

あわせて、エコセンター番匠への搬入ごみ手数料は、現在の一部定額制から全国的に多い単純従量制へ変更します。

#### イメージ



# 参考資料 「指定ごみ袋手数料の考え方」

指定ごみ袋は、排出量に応じた受益者負担として、全国的に制度化されている。  
 環境省調査では、大袋1枚20～50円台の自治体が多く、  
**1L当たり1円以上になると排出抑制率が高くなる。**

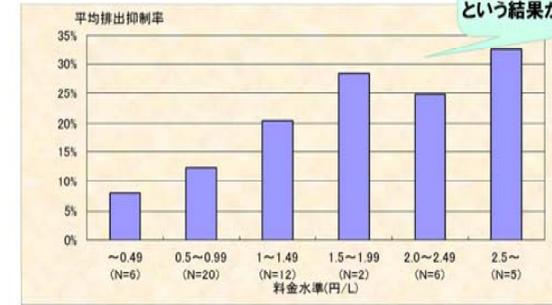
自治体名	種別・容量	縦 (mm)	横 (mm)	厚さ (mm)	1枚当り/税込
大分市	可燃・不燃大袋(45L相当)	850	650	0.035	31.5円
	可燃・不燃中袋(30L相当)	760	560	0.035	21円
	可燃・不燃小袋(20L相当)	690	480	0.030	14円
	可燃・不燃特小袋(10L相当)	560	390	0.030	7円
	可燃・不燃ミニ袋(5L相当)	440	320	0.030	3.5円
別府市	可燃ごみ(大)	900	650	0.032	22円
	可燃ごみ(小)	800	400	0.030	11円
	不燃ごみ(大)	900	650	0.040	22円
	不燃ごみ(小)	800	400	0.035	11円
	資源ごみ(大)	900	650	0.035	20円
資源ごみ(小)	800	400	0.030	10円	
中津市	9月から有料化開始 (10あたり1円)40Lで40円				
日田市	燃やせるごみ袋(大:45L)	800	450	0.030	36円
	燃やせるごみ袋(中:30L)	800	350	0.030	23円
	燃やせるごみ袋(小:15L)	540	300	0.025	12円
	燃やせないごみ袋(大:45L)	800	450	0.040	36円
	燃やせないごみ袋(中:30L)	800	350	0.035	23円
燃やせないごみ袋(小:15L)	540	300	0.035	12円	
佐伯市	可燃(45L)	800	450	0.033	30円
	不燃(45L)	800	450	0.050	30円
	分別(20L)可燃・不燃兼用	550	350	0.033	15円
臼杵市	可燃ごみ(大)	800	450	0.030	31円
	可燃ごみ(中)	800	350	0.030	20円
	可燃ごみ(小)	680	340	0.025	13円
	可燃ごみ(極小)	500	260	0.025	7円
	不燃ごみ(大)	800	450	0.040	31円
	不燃ごみ(中)	800	350	0.040	20円
	不燃ごみ(小)	680	340	0.040	13円
	資源ごみ(大)	800	450	0.030	31円
	資源ごみ(中)	800	350	0.030	20円
	資源ごみ(小)	680	340	0.025	13円
津久見市	可燃ごみ(大:45L)	800	650	0.030	30円
	可燃ごみ(中:30L)	800	500	0.030	20円
	可燃ごみ(小:20L)	680	460	0.025	13円
	可燃ごみ(極小:10L)	500	410	0.025	10円

自治体名	種別・容量	縦 (mm)	横 (mm)	厚さ (mm)	1枚当り/税込
竹田市	可燃ごみ(大)	850	650	0.030	30円
	可燃ごみ(中)	750	550	0.030	25円
	不燃ごみ	750	550	0.040	25円
	ペットボトル	750	550	0.040	25円
	廃プラ	850	650	0.030	30円
	資源(大)	750	550	0.040	30円
資源(小)	600	450	0.040	25円	
豊後高田市	可燃(大:45L)	800	450	0.040	25円
	可燃(小:30L)	700	350	0.035	15円
	不燃(大:45L)	800	450	0.040	25円
	不燃(小:30L)	700	350	0.035	15円
杵築市	可燃ごみ(大)	800	650	0.025	21円
	可燃ごみ(小)	650	500	0.020	11円
	不燃ごみ(大)	800	650	0.035	21円
	不燃ごみ(小)	650	500	0.030	11円
	資源ごみ(大)	800	650	0.035	10円
資源ごみ(小)	650	500	0.030	5円	
宇佐市	可燃ごみ(大)	800	450	0.040	30円
	可燃ごみ(小)	650	290	0.040	22円
	不燃ごみ(大)	800	450	0.040	30円
	不燃ごみ(小)	650	290	0.040	22円
豊後大野市	可燃ごみ(大:45L)	800	650	0.030	30円
	可燃ごみ(小:30L)	650	500	0.030	20円
	不燃ごみ(大:45L)	800	650	0.040	30円
	資源ごみ(大:45L)	800	650	0.035	30円
由布市	可燃ごみ(大)	850	470	0.025	25円
	可燃ごみ(小)	700	360	0.020	20円
	可燃ごみ(特小)	620	315	0.020	14円
	不燃ごみ(大:45L)	800	650	0.030	42円
国東市	可燃ごみ(小:30L)	700	500	0.025	32円
	不燃ごみ(大:45L)	800	650	0.045	42円
	資源ごみ(大:45L)	800	650	0.025	42円
	可燃ごみ(大)	800	470	0.035	20円
日出町	可燃ごみ(小)	700	400	0.030	10円
	不燃ごみ(大)	800	470	0.040	20円
	不燃ごみ(小)	700	400	0.035	10円
	資源ごみ(大)	800	470	0.040	20円
	資源ごみ(小)	700	400	0.035	10円

## 有料化の手引き 掲載データ

■ 可燃ごみの料金水準と平均排出抑制率

リットル当たり1円以上になると、平均の排出抑制率が20%以上という結果が現れています。



ごみ処理手数料見直しに合わせて、袋の大きさも3種類に増やすことも検討すべき。

【見直しイメージ】 中津市同様、1L当たり1円

- ・大袋(40L) 40円
- ・中袋(30L) 30円
- ・小袋(20L) 20円

### ※ 注意点

値上げだけではなく、減量化の取組と負担軽減の取組を合わせた対応も検討

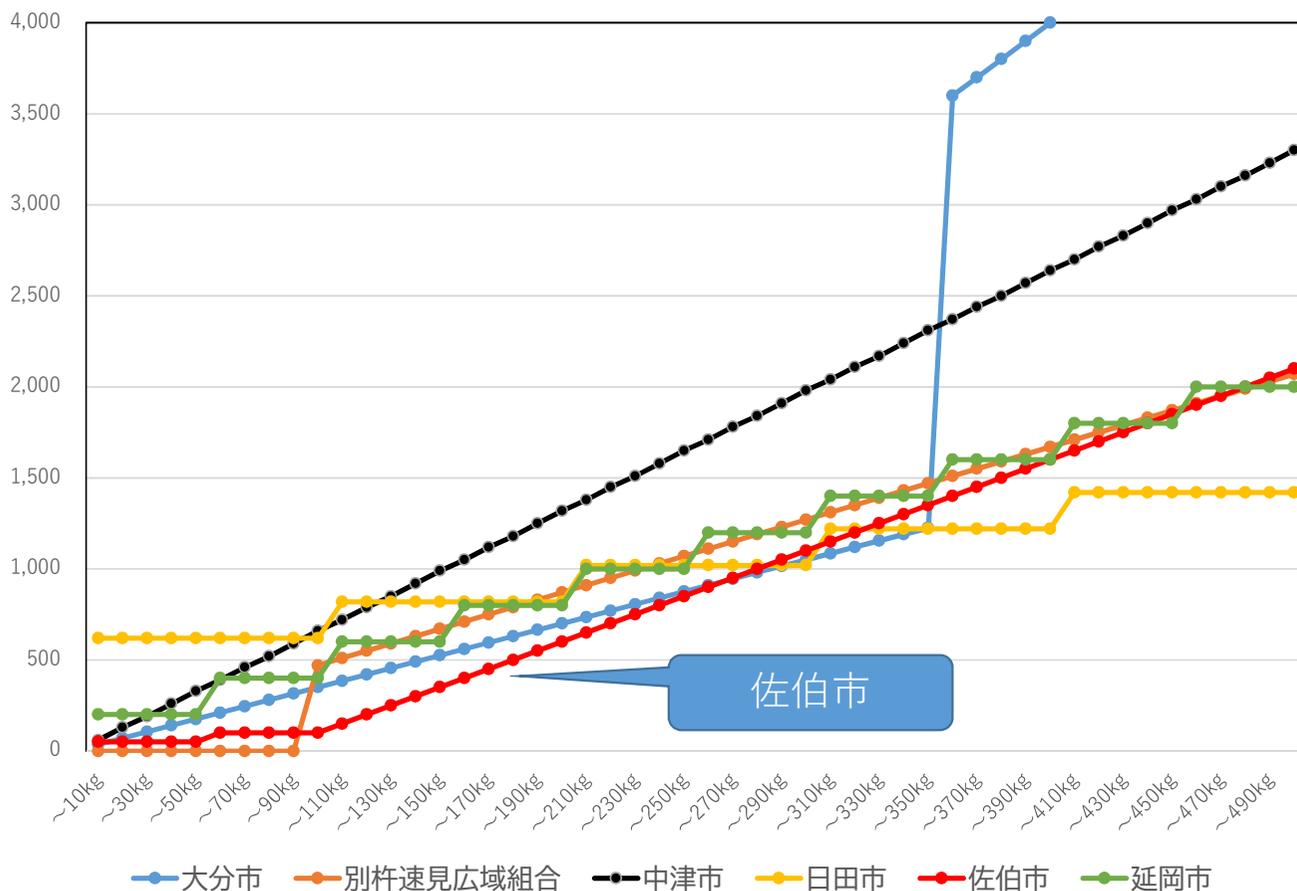
(例)

中袋と小袋を推奨とするため、おむつ対象世帯に一定の無料交付券を送付。

- ・3歳未満の子供
- ・要介護者
- ・出産届や転入届の際など

# 参考資料 「家庭の搬入ごみ手数料の考え方」

主要都市比較



現在の佐伯市は、定額制と従量制の併用型となっており、市民アンケートでは、「排出量に応じた負担とする単純比例型の従量制にすべき」が多かった。

排出抑制を促す単純従量制の料金水準が望ましい。

**排出量単純比例型**

排出量に応じて、排出者が手数料を負担する方式。  
単位ごみ量当たりの料金水準は、排出量にかかわらず一定。

負担額・料金

0

> 排出量

■ 利点

- 排出者毎の排出量を管理する必要がなく、制度の運用に要する費用が他の料金体系と比べて安価
- 制度が単純でわかりやすい

■ 欠点

- 料金水準が低い場合には、排出抑制につながらない可能性がある

■ 有料化を実施している市町村のうち  
排出量単純比例型の採用・・・約90%

(出所) 環境省「平成22年度一般廃棄物処理実態調査」

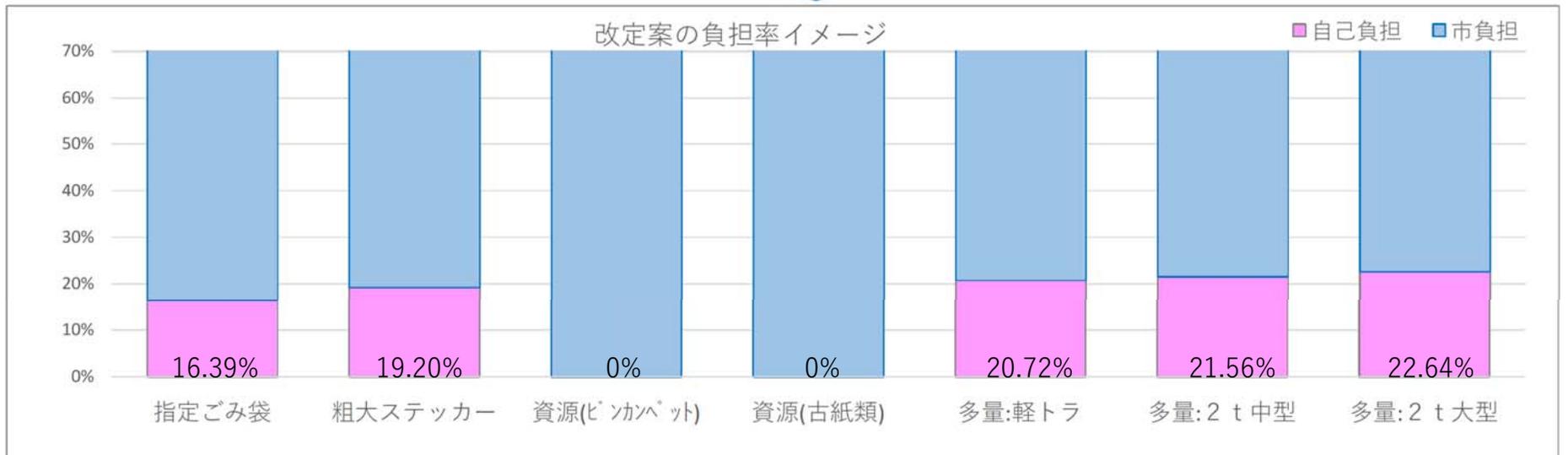
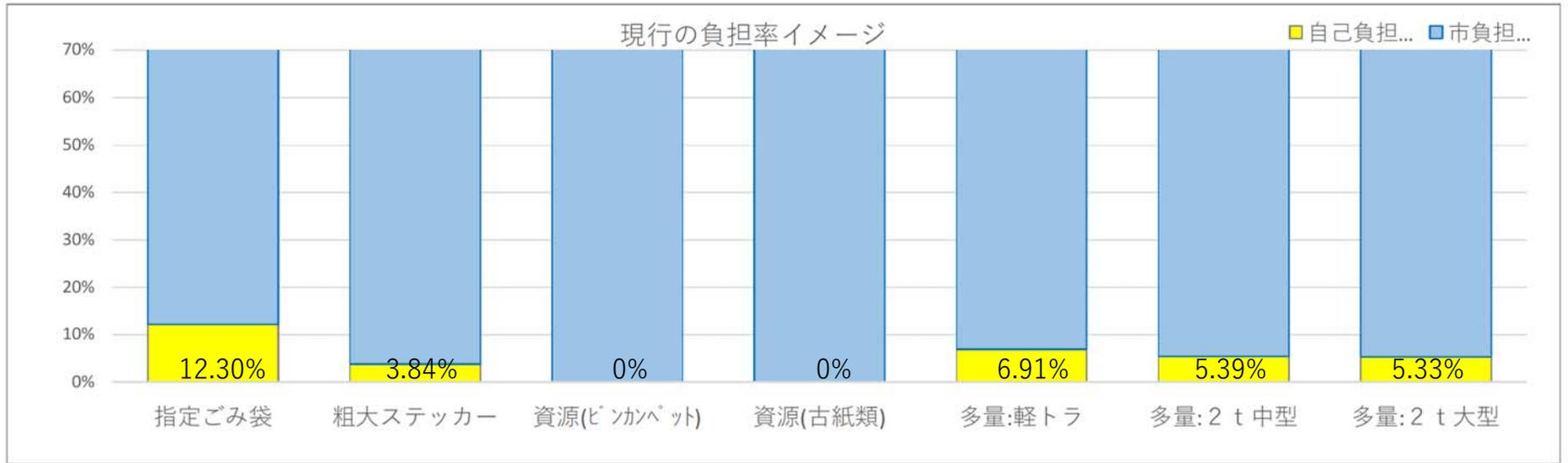
検討項目  
2-1  
収集運搬ごみ処理手数料の見直し  
事務局案

		収集運搬 区分	処理経費 (円)	収集量 (kg)	処理単価 (円/kg)	処理重量	処理原価 (A)	自己負担 (B)	市負担 (A-B)	自己負担率 (B/A)
現行	委託	指定ごみ袋	4,108,020,000	70,568,700	58.21円	4kg	244円	30円	214円	12.30%
		粗大ステッカー	22,124,000	169,910	130.21円	20kg	2,604円	100円	2,504円	3.84%
		資源(ビンカンパット)	285,840,000	3,684,770	77.57円	3kg	233円	0円	233円	0.00%
		資源(古紙類)	145,614,000	4,875,120	29.87円	4kg	119円	0円	119円	0.00%
	直営	多量:軽トラ	363,867,000	3,656,000	99.52円	160kg	15,923円	1,100円	14,823円	6.91%
		多量:2t中型				410kg	40,803円	2,200円	38,603円	5.39%
		多量:2t大型				830kg	82,602円	4,400円	78,202円	5.33%



改定案	委託	指定ごみ袋	4,108,020,000	70,568,700	58.21円	4kg	244円	40円	204円	16.39%
	直営	粗大ステッカー	22,124,000	169,910	130.21円	20kg	2,604円	500円	2,104円	19.20%
	委託	資源(ビンカンパット)	285,840,000	3,684,770	77.57円	3kg	233円	0円	233円	0.00%
		資源(古紙類)	145,614,000	4,875,120	29.87円	4kg	119円	0円	119円	0.00%
	直営	多量:軽トラ	363,867,000	3,656,000	99.53円	160kg	15,925円	3,300円	12,625円	20.72%
		多量:2t中型				410kg	40,807円	8,800円	32,007円	21.56%
		多量:2t大型				830kg	82,610円	18,700円	63,910円	22.64%

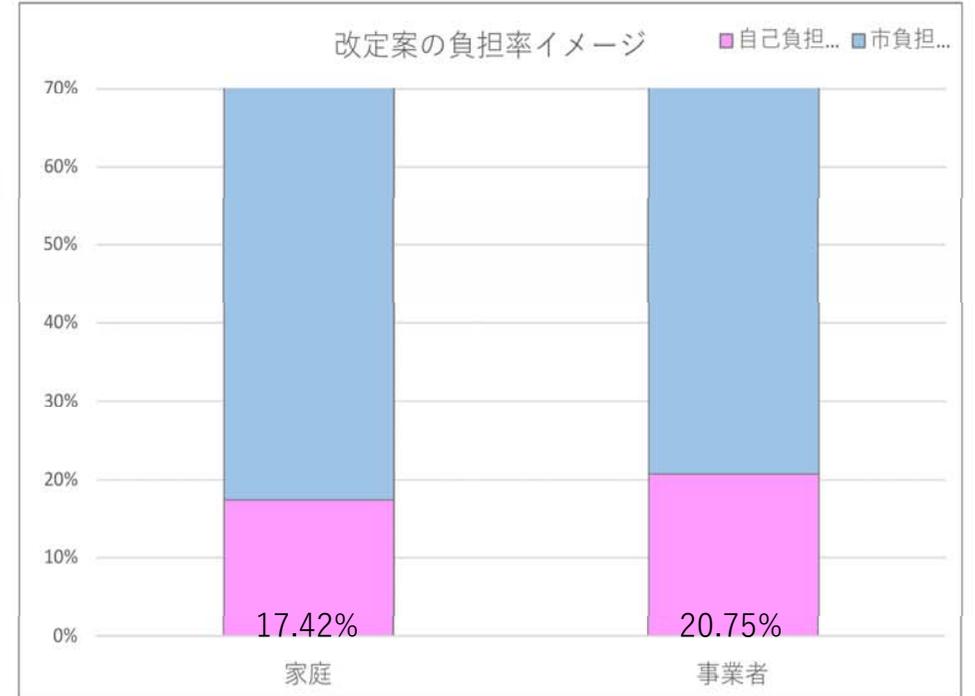
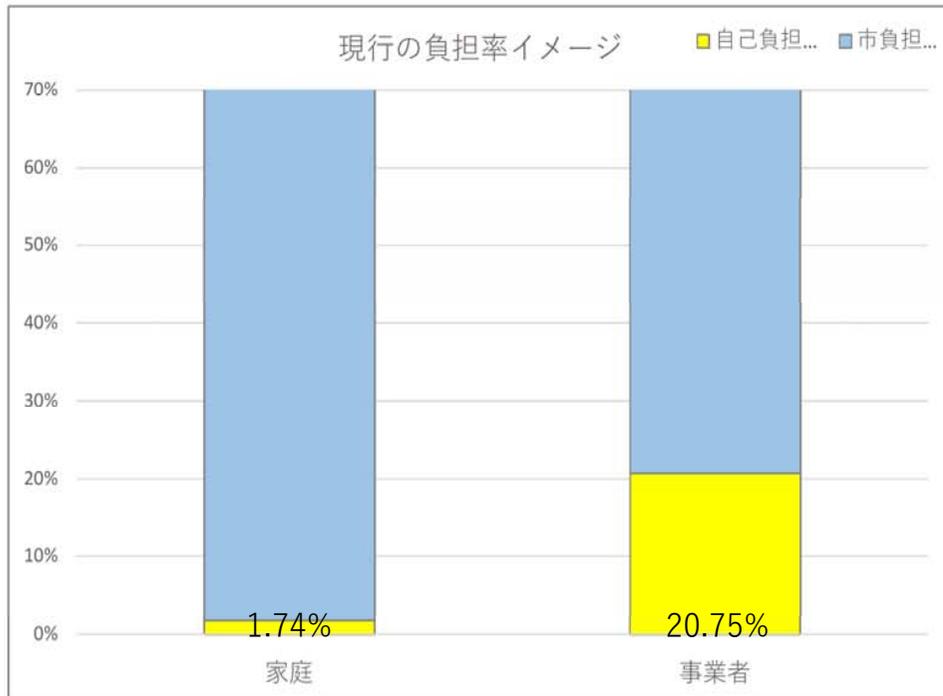
収集運搬の  
手数料負担率  
(イメージ)



## 検討項目2-2 搬入ごみ処理手数料の見直し 事務局案

現行								
搬入区分	5年間の 処理経費 (千円)	5年間の 処理量 (t)	処理単価 (円/kg)	単位 重量	処理 原価 (A)	自己負担 (B)	市負担 (A-B)	自己 負担率 (B/A)
家庭	5,490,372	95,578	57.44円	50kg	2,872円	50円	2,822円	1.74%
事業者	1,567,636	32,511	48.22円	10kg	482円	100円	382円	20.75%

改定案								
搬入区分	5年間の 処理経費 (千円)	5年間の 処理量 (t)	処理単価 (円/kg)	単位 重量	処理 原価 (A)	自己負担 (B)	市負担 (A-B)	自己 負担率 (B/A)
家庭	5,490,372	95,578	57.44円	10kg	574円	100円	474円	17.42%
事業者	1,567,636	32,511	48.22円	10kg	482円	100円	382円	20.75%



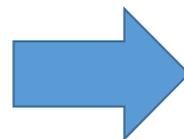
## 検討項目2 ごみ処理手数料の見直し(まとめ) 事務局案

区分		内容		手数料(税込)		備考
				現行	見直し案	
収集運搬	定期収集	指定ごみ袋(大)	45Lサイズ用	30円/枚	廃止	1L当たり1円
		指定ごみ袋(大)	40Lサイズ用	なし	40円/枚	
		指定ごみ袋(中)	30Lサイズ用	なし	30円/枚	
		指定ごみ袋(小)	20Lサイズ用	15円/枚	20円/枚	
	戸別収集	少量粗大ごみ	ステッカー	なし	500円/枚	予約制(1組まで)
		多量ごみ(小型車)	軽四トラック	1,100円/台	3,300円/台	
		多量ごみ(中型車)	2tショート	2,200円/台	8,800円/台	
	多量ごみ(大型車)	2tロング	4,400円/台	18,700円/台		
自己搬入	家庭	燃える、燃えない粗大(資源は無料)	定額制	50kgまで50円100kgまで100円	定額部分廃止	単純従量制に変更
			従量制	100kgを超えると10kg毎100円加算	10kgまで100円 以降10kg毎100円	
	事業系	事業系一般廃棄物(条例で定めるもの)	単純従量制	10kgまで100円 以降10kg毎100円	変更なし	

## 【進め方】 グループ討論(30分) → 休憩(10分) → 発表と全体討議(30分)

まず、簡単な自己紹介と発表者を決定してから、グループ討論へ

- ① 事務局案に対する個人の考え方
- ② 班としてのまとめ



- ③ グループ意見の発表  
各グループごと(4～5分×3班)
- ④ 全体討議 審議会意見のまとめ  
事務局案に対し多数決

### 1班 住民グループ

(司会 前原 誠一郎)

大分県南部保健所 衛生課長	前原 誠一郎
佐伯市区長会連合会	木 許 フジ
佐伯市PTA連合会	曾 宮 康 生
佐伯市PTA連合会	谷 川 貴 子
佐伯市PTA連合会	相 川 良 恵

(書記：清掃課 坂口)

### 2班 環境・事業グループ

(司会 宮崎正豊)

佐伯市区長会連合会 会長	宮 崎 正 豊
佐伯市環境審議会委員	後 藤 政 子
佐伯市環境審議会委員	山 本 眞 壽 美
小売事業者 (株)マルミヤストア	鹿 釜 崇 裕
小売事業者 佐伯市商店街連合会	木 許 里 香

(書記：清掃課 山田)

### 3班 処理業グループ

(司会 森下昌勅)

(一社)大分県産業資源 循環協会 専務理事兼事務局長	森 下 昌 勅
処理事業者 有限会社アサヒ産業	山 口 清 一 郎
処理事業者 有限会社広浜環境	広 浜 哲 哉
処理事業者 さくら運輸株式会社	芦 刈 明 美
処理事業者 吉田港運株式会社	杉 原 幸 一

(書記：清掃課 三浦)

## グループ討論 → まとめ

討論項目	事務局の変更案	グループの考え方(まとめ)
1 収集体制	①乾電池・蛍光灯 AB地区の拠点回収を廃止し、集積所に出すことができるよう、全域での定期収集(集積所方式)を開始する。	【賛成・反対・その他】
	②少量の粗大ごみ 地区ごとに収集日を設定し、市内全域で予約制での戸別収集を開始する。 [定期収集を廃止]	【賛成・反対・その他】
	【多量ごみ】 搬出から収集運搬まで含めた「訪問収集」の実施に向け、認定許可制度確立に取り組む。	【賛成・反対・その他】
2-1 収集運搬 ごみ処理 手数料	定期収集を基本とした負担率 【指定ごみ袋】1L当たり1円 大袋(40L) 40円 中袋(30L) 30円 小袋(20L) 20円 【少量の粗大ごみ】 1組 500円 【多量ごみ】 軽トラック 3,300円 2t 中型 8,800円 2t 大型 18,700円	【賛成・反対・その他】
2-2 搬入ごみ 処理手数料	一部定額制の家庭ごみを、単純従量制に変更 【家庭】 10kg当たり100円 【事業系】 10kg当たり100円	【賛成・反対・その他】
3 その他		

(2) 今後の予定・・・全体スケジュール

